

山前小学校だより



真岡市立山前小学校

令和7年度第4号
2025.7.18 発行

校長室から

いよいよ明日から、待ちに待った夏休みが始まります。1学期中は、毎朝6年生が昇降口に立ち、元気な声でいさつ運動を行ってくれました。6年生の校舎内に響き渡る大きな声に負けじと、下級生もそれを上回る元気ないさつで応え、おかげで学校中のみんなが気持ち良く一日をスタートすることができました。6年生が自分たちにできることを考え、学校のために一丸となって取り組んでくれたいさつ運動、これからも形を変えながら、下級生にも引き継いでいってくれることを期待しています。

さて、明日からの夏休みは、学習や生活を見つめ直し、気持ちをリセットする絶好のチャンスです。この4月以来、お子様の健やかな成長を支え、本校の教育にご協力下さりありがとうございました。ご家庭でも通知表をご参考にされ、お子様がよりよく伸びる話題と励ましの材料にしていただければと思います。

さて、終業式では子供たちに「いのちのおはなし」をしました。8年前に105歳で亡くなった日野原重明さんのお話です。日野原さんは長い間、10歳の子供たちに「いのちの授業」を行ってきました。日野原さんは授業の中で、子供たちに「いのちって何ですか？」と問いかけます。子供たちは心臓とか頭とか体全体などと答えますが、日野原さんは「いのちとは、あなたがつかえる時間のことです。」と答えます。

「つまり、時間を大切にすること
は、命を大切にすることです。」

そして日野原さんは続けます。「ではみなさんは、自分の持ち時間をどのように使っていますか？」子供たちは考えます。朝起きて、ご飯を食べて、学校へ行く。勉強したり、給食を食べたりする。家に帰って、宿題をしたり、ゲームをしたりする・・・。子供たちは、一日のほとんどの時間を自分のために使っていることに気付きます。日野原さんは子供たちに、次のように伝えます。

「時間を大切にすることは、自分のためだけに時間を使うのではなく、自分以外の人のために時間を使うことでもあります。」

日野原さんのお話をとおして、自由に使える時間がたくさんある夏休みには、ぜひ、自分のためだけではなく、家族のため、周りの人のために時間を使ってほしいこと、そして、「やりたいこと」と「やらなければならないこと」のバランスを考えて、行動してほしいことを伝えました。

夏休みは、水の事故や交通事故、熱中症などに十分気を付けて、充実した日々を過ごしてほしいと思います。2学期の始業式にはまた元気な笑顔で子供たちと会えることを楽しみにしています。



6年生による朝のいさつ運動



1・2年生の学校探検



児童集会「新入生歓迎会」



5年生の稻の苗植え